

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.397 2012.1.1 <http://www.oakv.co.jp>

龍のごとき年

稲本 正文

確かに昨年はずらい年だった。

しかし、よりつらいことを乗り越え、より大きな自信と、より良い結果に結びつく。

そして、今の日本にとって重要なのは、単に、元に戻すことではなく、むしろ、新しく生まれ変わらせることではないだろうか。

津波で多くのものが破壊され、福島原発も廃炉になる。物理的にも元に戻らないが、何より、気持ちは元に戻らない。いや、戻すというよりは、深い谷からより高い山へと向かいたいものだ。

明治維新を担った人たちは、ほんの少しの下級武士だった。坂本龍馬ではないが、今年は苦難を越えて「昇ること龍のごとき」と言われるような年にしたものだ。

【写真 / 神代樺】
じんたいけやき

神代の昔に地中に埋もれ、二千数百年の時を経て掘り出された樺材。